

# 基本教練



基本教練とは文字のとおり自衛官の基本であり今後、自衛官として勤務していく上で必ず身につけておかななくてはならない動作を訓練することです。

不動の姿勢（気を付け）に始まり、敬礼、方向転換、その他、行進時の動作、執銃時の動作等、覚えることはたくさんあります。

この各種動作は、普段の生活から式典等の行事において部隊内で使わない日はありません。

入隊式を終え、正式に海上自衛官となった学生達に対し、1日でも早く基本動作が身に着くように丁寧に指導します。



何事も最初が肝心といいますが、基本教練においても同様で、個癖（個人がもつ癖）が付かないように、初めに正しい形を手取り足取り徹底して指導します。学生達は訓練の時間以外にも鏡を見ながら正しい形が定着するまで何度も練習します。



上の写真は行進時の方向転換の動作の一つの「回れ進め」です。180度転換する動作で、号令をタイミングよく出す必要もあり、少し難易度高めの動作です。



学生達が持っている青い銃は、訓練用の教材

として64式小銃と同じサイズ、重量で作られた模擬銃で通称「ブルーガン」と呼ばれています。見た目はプラモデルっぽいですが、重さは実銃と同じなので、地味に重いです。ゴム製で頑丈なので、銃の扱いに慣れていない新入隊員にはぴったりだと思います。





銃の重さに慣れさせ、長時間銃を携行しても疲れな強い強靱な体力を練成するために銃を持って走る訓練も実施しました。

わりと短時間ではありましたが、新入隊員にとってはしんどかったようです。一方、教官は涼しい顔をして走っていたので、さすがだなと思いました。

これからもどんどん訓練して、基本教練の技術を身に着け、自衛官として必要な体力をつけていてもらいたいと思います。